



平成 22 年 7 月 15 日 発行 第 5 3 号

## 第 18 回通常総会開催される

第 18 回通常総会が去る、5 月 27 日（木）に東京八丁堀の「日本フィッシング会館」にて開催されました。この総会では、定例の平成 21 年度の事業・収支計算書の実績報告及び平成 22 年度事業計画・収支計算書（予算）の報告があり、提案通り承認されました。

特に、平成 22 年度のフィッシングショーは“コンシューマーショー”をコンセプトに、従来の新製品の展示・紹介はもちろんのこと、パシフィコ横浜の裏手の臨港パークを活用した“フェスティバル”に衣替えることにより若干の経費増となる予算組を行っております。

事業計画におきましても、委員会組織を若干変更し、日釣工本来の機能中心に活動するように委員会組織を集約しました。

又、役員の人数を 5 名削減するべく「定款」の定数変更が提案され承認されました。今年度は役員改選の時期に当たり、定款変更と同時に、削減された人数での改選が行われ、合計 23 名の新役員が選任されました。

報告承認事項では、「ワーム環境対策会議」の状況報告がされ、ワームに関連している企業（メーカー・問屋・量販店・小売店）の方々の総意で、平成 23 年 1 月 1 日以降のメーカー出荷分のワームに対し“ワームシール”を貼付して（同時にワーム単価の値上げ）出荷されることで計画されております。

このワームのシステムの詳細については、別途皆様にご通知申し上げます。

以上を持って、第 18 回総会が問題なく終了したことをご報告致します。



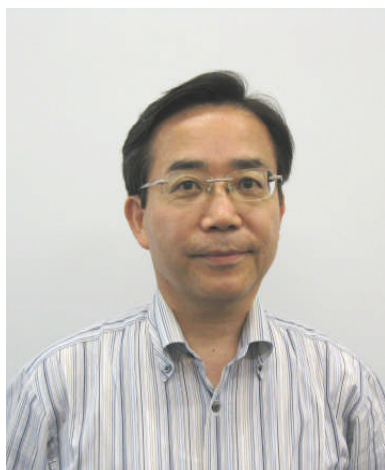
### CONTENTS

- ・第 18 回通常総会開催される …… P 1
- ・「環境担当顧問」のご紹介 …… P 2
- ・平成 22 年・23 年度新役員名簿 …… P 3
- ・平成 22 年・23 年委員会組織 …… P 4
- ・Japan fishing festival …… P 5
- ・ワーム環境協力シールについて …… P 7
- ・会員クローズアップ …… P 8
- ・会員動向 …… P 9
- ・事務局だより …… P 10

\*\* 日釣工 新「環境担当顧問」のご紹介 \*\*

当工業会では、「環境対応問題」を積極的に取り組むべき課題として、環境保全委員会を中心に諸事項を展開しておりますが、この度、京都大学教授の松下和夫氏に当工業会の環境担当顧問への就任を依頼し、同委員会にご出席頂き、「環境対応問題」に関する助言を賜ることとなりました。

なお、同教授は、環境省(庁)で政策立案に関与し、国連サミット事務局や OECD 環境局でも活躍され、京都議定書(1997年)の採択にも関わってこられました。また、環境問題について、国際的な観点から取り組んでおられます。



京都大学大学院地球環境学堂教授

まつした かずお  
松下 和夫氏

生年月日 1948年  
出生地 徳島市  
現住所 横浜市(单身先 京都)

- 略歴
- 1971年 東京大学経済学部経済学科卒業
  - 1972年 同経営学科卒業
  - 1972年 環境省入庁
  - 1976年 ジョンズ・ホプキンス大学大学院政治経済学部修士課程修了
  - 1978年 OECD環境局産業環境部
  - 1990年 国連地球サミット(UNCED)上級環境計画官として「環境と開発会議92」事務局勤務
  - 1992年 環境庁大気保全局大気規制課長
  - 1993年 環境保全対策課長
  - 1995年 環境事業団地球環境基金部長
  - 1998年 地球環境戦略研究機構 ( I G E S ) 副所長
  - 2001年 京都大学大学院地球環境学堂教授
  - 国連大学高等研究所客員教授
  - 国際協力機構 ( J I C A ) 環境社会配慮助言委員会委員
  - 財団法人国際湖沼委員会 ( I L E C ) 理事

- 所属学会
- 環境経済・政策学会
  - 環境法政策学会
  - 環境思想研究会

- 主要著書
- 『環境政策学のすすめ』(丸善)
  - 『環境ガバナンス (市民・企業・自治体・政治の役割)』(岩波書店)
  - 『地球温暖化読本』(海像社)
  - 『環境政治学入門』(平凡社)ほか

\*\*\* 新理事・監事及び役職理事の方々の御紹介 \*\*\*

今後2年間、当工業会の発展の為に活躍頂く方々を御紹介します。

社団法人 日本釣用品工業会 役員名簿

(平成22年・23年度)

役職名	氏名	社名	(役職)
会長	島野 容三	(株)シマノ	代表取締役社長
副会長	小島 忠雄	グローブライド(株)	代表取締役社長
〃	大村 一仁	富士工業(株)	代表取締役社長
専務理事	矢頭 晃	(社)日本釣用品工業会	(社)日本釣用品工業会
常任理事	藤原 鉄弥	(株)フジワラ	代表取締役
〃	藤井 治幸	(株)がまかつ	代表取締役副社長
〃	加藤 誠司	(株)ジャッカル	代表取締役社会長
〃	宮澤 政信	マルキュー(株)	代表取締役社長
〃	奥村 稔	(株)ヤマリア	代表取締役社長
理事	西岡 嘉宏	富士灯器(株)	代表取締役
〃	鈴木 仁一	(株)スミス	代表取締役
〃	鈴木 健一	(株)スズミエンタープライズ	専務取締役
〃	篠倉 庸良	(株)ささめ針	代表取締役社長
〃	森 幹雄	(株)もりげん	代表取締役
〃	塩澤 直人	(株)天龍	代表取締役社長
〃	林 隆雄	五十鈴工業(株)	代表取締役社長
〃	伊東 由樹	メガバス(株)	代表取締役社長
〃	櫻井 孝行	櫻井釣漁具(株)	代表取締役社長
〃	リチャード・L・ギルフォイル	ピュア・フィッシング・ジャパン(株)	代表取締役社長
〃	中道 成之	(株)オーナーぱり	代表取締役
〃	中川 明紀	(株)カツイチ	代表取締役社長
〃	池田 康彦	(株)サンライン	代表取締役社長
〃	酒井 誠一	(株)ティムコ	常務取締役社長室長

監事	土肥 芳郎	(株)土肥富	代表取締役
〃	鈴木 隆	(株)リチャーズ	代表取締役
〃	北川 太洋	(株)デュエル	取締役常務執行役員

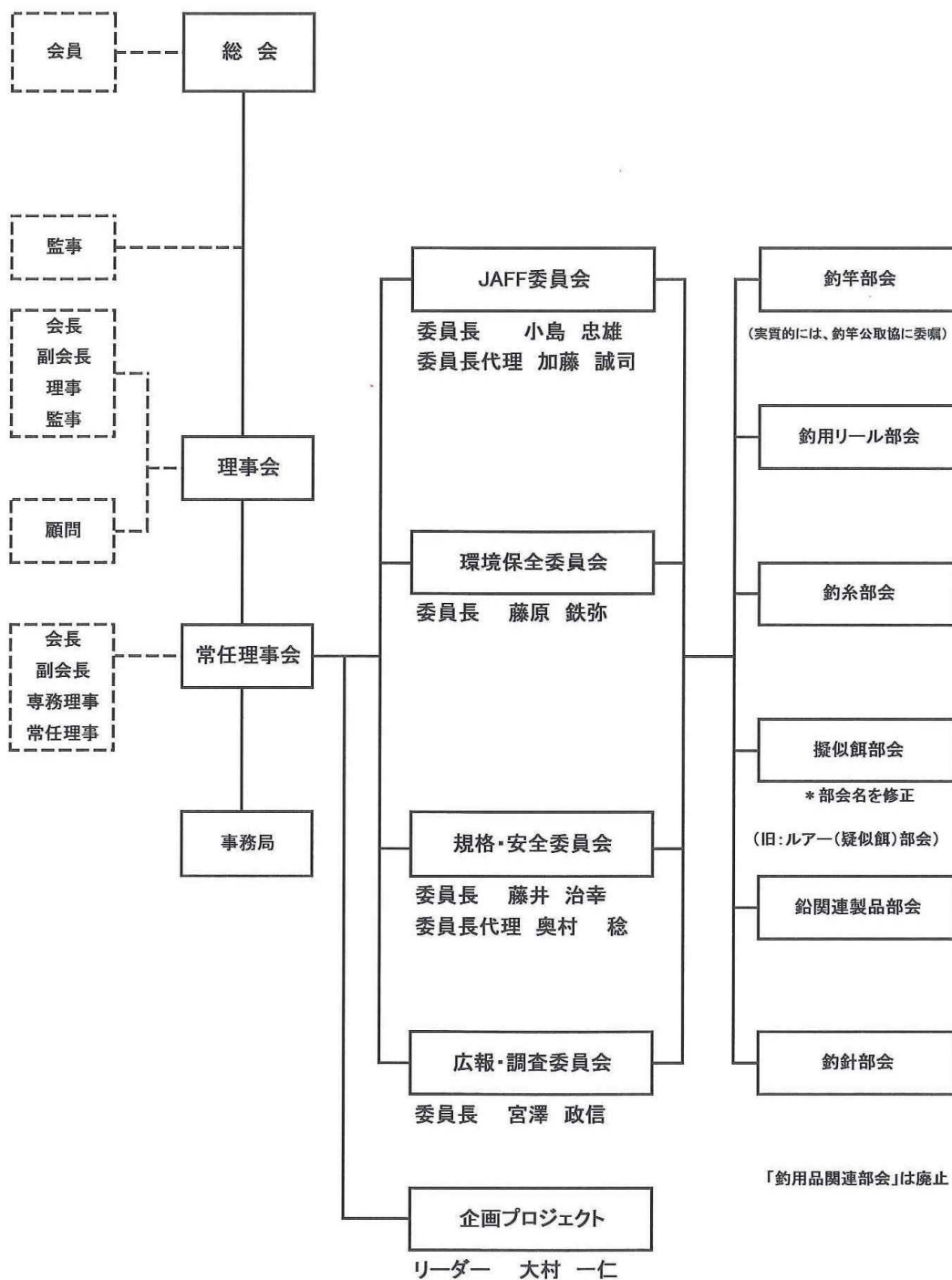
\*今期で理事を退任された方々のご紹介\*

- ・酒井 貞彦氏 (株)ティムコ (理事として18年)
- ・岡村 亮治氏 (株)サンライン (理事として15年)
- ・奥村 芳弘氏 山豊テグス(株) (理事として6年)
- ・垂井 栄介氏 (株)ゴーセン (理事として1年5ヶ月)
- ・宮入 裕夫氏 東京医科歯科大学名誉教授 (監事及び理事として10年)

◆◆◆ 平成22年度・23年度 委員会組織 ◆◆◆

今後2年間、当工業会の活動として、下記組織及び委員会活動を中心に活動して参りますので宜しく願いいたします。

社団法人 日本釣用品工業会  
平成22年度・23年度 委員会 組織・機構



国際フィッシングショー2011

# Japan Fishing Festival

## 出展社募集始まる！

当工業会が主催し、今回で16回目を迎え、平成23年3月25日（金）より27日（日）までの3日間、横浜市みなとみらいのパシフィコ横浜にて開催予定の「Japan Fishing Festival～国際フィッシングショー2011～」は、いよいよ出展社の募集が始まりました。

国際フィッシングショーは、パシフィコ横浜と臨港パーク周辺を一带で使った「釣りのお祭り」に変身して開催いたします。

JAFF委員会（小島忠雄委員長）では、従来のパシフィコ横浜の展示会場はもちろんのこと、海沿いの臨港パークで開催する釣りファン、およびファミリーやお子様などに釣りや海の魅力をアピールする楽しい屋外イベントを企画しております。

### （1）開催概要

名 称	Japan Fishing Festival ～国際フィッシングショー2011～		
主 催	社団法人 日本釣用品工業会		
後 援	経済産業省・神奈川県・横浜市・NHK・(財)日本釣振興会（いずれも予定）		
会 期	平成23年3月25日（金）	9:30～10:00	開会式
		10:00～18:00	一般公開
	26日（土）	9:00～18:00	一般公開
	27日（日）	9:00～17:00	一般公開
会 場	パシフィコ横浜（みなとみらい21、神奈川県横浜市） 展示ホールおよび臨港パーク一帯		
出展規模	180社 800小間（予定）（展示会場のみ）		
来場者数	70,000名（予定）		
入場料金	当日券 1,200円	前売券 1,000円	（中学生以下、無料） （屋外会場のみの見学は無料）

### （2）今後のスケジュール

平成22年6月7日（月）	出展申込の受付開始
平成22年8月31日（火）	出展申込の受付締切（予納金（半額）振込期限）
平成22年10月5日（火）	出展社説明会、小間割抽選会、個別相談会 エンパイヤビル会議室（東京・八丁堀）
平成22年10月29日（金）	残金振込期限

### （3）出展に関する「新企画」のご案内

#### ① 屋内：出展社プレゼンステージ

出展社の商品アピールの場として、展示ホールの最も注目度の高いエリアに、出展社プレゼンステージを2ステージ設ける予定です。

自社ブース内ステージのサブステージとして、また、ブース内にステージ設置スペースの余裕がない出展社様に大いに活用頂けます。

(ステージ) H300×D1800×W3600

② 屋外：新製品体験ゾーン

出展社の皆様に、屋外の防波堤を開放し屋外体験スペースの設置を関係当局と調整中です。来場者が、ロッドやルアー、リールなどの実際の使い勝手を体験出来る場が提供（有料）出来る予定です。

③ その他：出展社交流会協力費

出展の皆様に、「出展社交流会協力金」とし、1社1口で、出展社交流会(3月25日金曜夜開催予定)への開催協力費用をご負担頂くこととなります。1社当たり10,500円(消費税は含みます)とし、1社1口には、交流会参加券2枚をお渡しします。

**Aicaさん(アングラーズアイドル2010)の起用・報道のお願い**

■アングラーズアイドルとは

- 1) プロの女性アングララーを目指すものではなく
- 2) 釣りのイメージアップ、門戸の広さ・釣りの楽しさを象徴する
- 3) さわやかで、新しい釣りファンを増やし、  
かつ業界のイメージアップに貢献する存在です



■アングラーズアイドル2010 選考結果

去る2010年2月12日～14日に、パシフィコ横浜で開催された「国際フィッシングショー2010」の中日、2月13日に、同イベントステージにて開催された「アングラーズアイドル2010 最終公開オーディション」に於きまして、審査員協議の結果、初代のアングラーズアイドルは「Aicaさん」に決定致しました。

■Aica(アングラーズアイドル2010)の起用・報道のお願い

当工業会では、業界初のオフィシャルなイメージガールとして、「Aica」をプロモートしつつ、釣業界発展に寄与したく存じますので、メディア様および釣用品メーカー様、釣具販売店様など、業界各位におかれましては、「アングラーズアイドル」の企画主旨をお汲み取りの上、積極的な「Aica」の起用・報道にご協力を賜りたくお願い申し上げます。

1) 「Aica」のモデル・レポーターなどへの起用をお願い致します!

- ・ 報道関係者様におかれましては、自社の紙誌面、あるいは番組づくりにおける、モデル、レポーター、チャレンジャー等として…
  - ・ メーカー・販売店など業界関係者様におかれましては、自社のカタログ、パンフレット、ポスター、イベント、キャンペーン等に…
- 「Aica」を積極的にご利用いただきたく、お願い致します。

ご出演・活動内容は、当会が作成のブログやニュースなどで、積極的に情報発信を行います

2) アングラーズアイドル「Aicaブログ」等への貴社ホームページのバナーリンクをお願い致します!

■紹介報道・出演などのお申し込み・お問合せは

社団法人 日本釣用品工業会 事務局(担当: 館) まで

TEL 03-3555-0101～0102 FAX 03-5542-2929 E-mail tateyosi@jaftma.or.jp

住所 東京都中央区八丁堀二丁目22番8号 日本フィッシング会館5階

—— ワーム環境協力シールについて ——

さて、釣り人が残した釣針や釣糸等で鳥や動物に危害があった事例や、釣り禁止区域に入る釣り人のマナー問題等がマスコミに取り上げられております。過去においては、“ワーム問題”（環境ホルモン問題）もマスコミに同様に叩かれ対策してきた経緯もあります。

この様な環境だからこそ、なお更に釣関連業界においても、環境対策には特に重点指向して対策を実施しなければならない状況にあるのは衆知の通りであります。

特に、“ワーム”に対しては何等かの対策を先手を打って行う必要があると考え、ワームに関連する企業の方々（日釣工会員企業に留まらず、全国のワームメーカー及び流通関連企業様）にご参加いただいて、検討を重ねた結果、ワームに「環境協力シール」を貼付し（同時にシール代分の値上げを実施）、その開始時期を「平成23年1月1日メーカー出荷分」より開始することになりました。

シール代の値上げ分は、全国の「湖底・海底清掃」を実施する資金として使用することになっております。

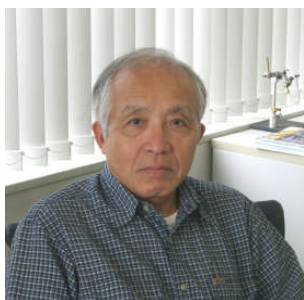
つまり、環境協力シールの販売（及び印刷の場合の契約締結）は、（社）日本釣用品工業会が行い、シール1枚：¥6円で販売し、その収益金を日釣工がプールし、（財）日本釣振興会に「湖底・海底清掃事業」に業務委託する資金に使用する計画です。

何卒、この趣旨を充分にご理解頂き、ご賛同とご協力下さいますようお願い申し上げます。

株式会社ティムコ

代表取締役社長 霜 田 俊 憲様

**会員クローズアップ NO. 7**



第7回目となる今回は、“Think in the field”をスローガンとして、自然のフィールドと真摯に向き合いながら、独創的な商品やサービスを展開しておられます株式会社ティムコのご紹介です。

社名の由来は、“Tokyo Import Export & Manufacturing Company”の略称であり、東京をスタートポイントとして、貿易・製造を問わずさまざまな手段によって、未来に向けたビジネスを実現できる企業でありたいとの理念のもとに設立されたとのこと。

本社：東京都墨田区菊川3-1-11 TEL 03-5600-0122

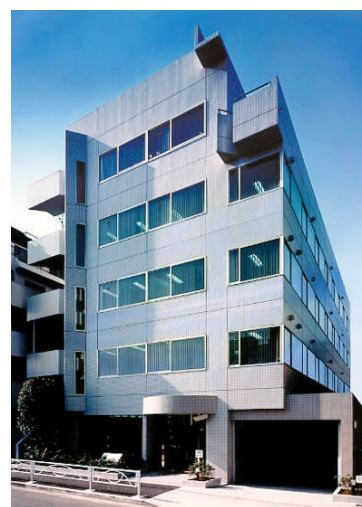
URL：<http://www.tiemco.co.jp>

**会社の沿革・概要**

同社は、主にフィッシング用品、アウトドア用品の2つの事業を手掛けています。フィッシングの分野では、フライ用品やルアー用品を、アウトドアの分野では、衣料品やバッグ類を中心に企画開発し、販売しています。

創業は1969年。今年で設立から41年目を迎えます。当初、海外のフィッシング用品の輸入販売を手がけていましたが、1980年代より自社開発も同時に手掛けるようになり、現在では商品の80%以上が自社企画となっています。

また、当社では1976年よりフライフィッシングスクールを開講し、以来、30年以上にわたり延べ1万人以上の受講生を輩出してきました。こうしたスクール活動を通じて、多くの方々に釣りの楽しさを啓蒙してまいりたく存じます。



**社長の一言**

ティムコの仕事は1969年の創業以来、変わることはありません。自然の中で、ひととき、世間の喧騒を離れて、静かに、しかし心躍る充実した時間を過ごす。そのための商品とサービスを提供する。そのことを私たちの使命として事業を続けてきました。

21世紀の科学技術がどんなに生活のあり方を進歩あるいは変化させることがあっても、生物界の一員である人間は、決して自然から離れられない存在であることを、私たちは日々実感しています。だからこそ、私たちは、清浄な空気、清冽な水、豊かな緑を求めてやまないのだと思います。

アウトドアをより豊かに楽しむことをビジネスとしている私たちは、自らも自然によく親しみ、その経験のなかから、独創性にあふれ、みなさまに愛着をもって使っていただけるとともに、長い使用に耐えるものを生み出していきたいと考えています。

私たちの望みはこれからも、自然との関わりをこそ大切にするクワイエットスポーツを中心に事業を展開していくことです。そのなかで、私たちは、

みなさまに信頼され、みなさまにとって、なくてはならないと思っただけのような会社になることを目指していきます。

**会社のトピックス**

当社はフライフィッシングの分野において強みを持っていますが、現在はフライマーケットの裾野拡大に力を入れています。例えば、フライフィッシングではキャストイングをマスターすることに最初の障壁がありますが、従来のキャストイングとは異なった方法で、子供や女性でもフライフィッシングが楽しめる「フライトライ」という商品を開発しました。また、当社のもうひとつの事業であるアウトドア衣料の分野と組み合わせ、キャンプやトレッキング等のアクティビティとフライフィッシングを組み合わせ、フィールドでの楽しみを加える提案等を行い、裾野の拡大に取り組んでいます。



会 員 動 向

※第92回、第93回、第94回理事会で次のとおり入会4社・退会3社が承認されました。

入会会員

(第92回理事会)

◆(株)カーメイト/代表者・村田隆昭

〒171-0051 東京都豊島区长崎 5-33-11 TEL03-5926-1211 Fax03-5926-1252

◆八洲電業(株)/代表者・橋爪賢治郎

〒537-0022 大阪府大阪市東成区中本 4-13-3 TEL06-6972-3045 Fax06-6974-0633

(第93回理事会)

◆(株)コーモランプロダクト/代表者・廣常 憲

〒673-0434 兵庫県三木市別所小林 722-2 TEL0794-85-4578 Fax0794-85-1193

(第94回理事会)

◆ジャパングームフィッシュ協会/代表者・岡田順三 ※賛助会員

〒104-0032 東京都中央区八丁堀 2-22-8 日本フィッシング会館

TEL03-6280-3950 Fax03-6280-3952

退会会員

(第92回理事会)

◆マリンパワーインターナショナルリミテッド日本支社/代表者・得能正憲

〒104-435-0005 静岡県浜松市東区安新町 283-1 TEL053-423-2500 Fax053-423-2510

◆(株)バニヤンフードサービス/代表者・横倉新次 ※賛助会員

〒104-0042 東京都中央区入船 1-4-8 TEL03-3425-0511 Fax03-3425-0521

(第94回理事会)

◆(株)ティファ/代表者・和根崎 孝

〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町 4-4-11 TEL0422-21-6880 Fax0422-21-8900

※会員企業新代表者就任のお知らせ

◆スターンキーパー(株)の代表取締役社長に高橋 智氏が就任されました。

※会員企業組織の変更

◆(株)黒鯛工房は組織変更のため当工業会への登録を(株)ウイングに変更しました。

◆(株)ハートフル・ジャパンは下記へ移転しました。

〒673-0403 兵庫県三木市末広 3-10-22 TEL・Fax の変更はありません。

◆(株)レインは下記へ移転しました。

〒327-0302 栃木県佐野市白岩町 6-15 TEL0283-67-7080 Fax0283-67-7081

◆(株)デュエルは下記へ移転しました。

〒812-0024 福岡県福岡市博多区網場町 1-1 福岡第一生命館 7F

TEL092-283-5555 Fax092-283-5580

◆(株)下田漁具は下記へ移転しました。

〒415-0038 静岡県下田市大賀茂字岩山 7-1 TEL・Fax の変更はありません。

☆☆☆☆☆☆ 事務局日より ☆☆☆☆☆☆

- ・ 地球温暖化による影響なのか、各地域、特に海水面では釣れる魚が徐々にではあるが変化がおき、ある日気づいたら全く釣物が変わっていたことに・・・。
- ・ 地球温暖化も大きな不安でもあり、身近な家庭でも取組んできてはいるが、我々釣業界は特に「環境対策」は業界挙げて取組む必要に迫られています。
- ・ 釣用品の中でも特に“ワーム”問題は喫緊の課題でもあり、今回日釣工会員だけでなく、ワーム関連企業（流通含む）に参加頂いて決定した、湖底・海底清掃資金回収システムを立上ることになりました。
- ・ ワームメーカー様が“環境協力シール”を購入・貼付し、結果的には、ワームの出荷価格を値上げし、その分を資金として使用することになりました。  
（ワームシールの原価と購入単価との差額を資金とする）
- ・ 今年度は、2年毎に改選される役員改選年度に当たります。今総会で新役員23名が選任されました。新役員の方々には大変ご苦勞をおかけしますが宜しくお願い申し上げます。
- ・ 又、委員会組織も集約した形にし、出来る限り効率的、且つ実効的に委員会運営が実施・運営出来るように組織変更しました。
- ・ 役員改選及び委員会組織変更に伴い、委員会委員も同様に改選になりますので、各会員企業様には、委員の選出をお願いしており、選出された委員の方々には、この先2年間の委員会活動に宜しくお願い致します。
- ・ 皆様ご存知とは思いますが、日本フィッシング会館（8階建ての自社ビル）の有効活用の一環として、1階にあった「フィッシングサロン」を閉館し、新規に「テナント（飲食店）」が入居しました。又、先月（6月）から同じ釣業界に所属している「ジャパングームフィッシュ協会（JGFA）」が4階の一部に事務所として入居することになりました。  
（写真参照：左写真 1階「テナント」、右写真 4階「JGFA事務所」）
- ・ 事務局員一同、一致協力して業務に邁進いたしますので、会員各位のご協力を心より宜しくお願い申し上げます。
- ・ 事務局の今年の夏休みは、8月11日（水）～13日（金）の3日間となっておりますので宜しくお願い致します。



1階「テナント」



4階「JGFA事務所」

<会員名簿刊行>

会員名簿（平成22年7月現在）を刊行いたしましたので近日中にご送付申し上げます。  
なお、同名簿には細心の注意を払い作成しましたが、誤記等がございましたら事務局までご連絡をお願い申し上げます。

**JAF TMA**  
JAPAN FISHING TACKLE MANUFACTURERS ASSOCIATION  
社団法人日本釣用品工業会  
〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-22-8 日本フィッシング会館  
TEL 03(3555)0101(代表) FAX 03(5542)2929